



# 3Rリサイクル研究会 活動紹介

(一社)日本産業機械工業会 環境装置部会  
(環境ビジネス委員会 3Rリサイクル研究会)

# ■ 3Rリサイクル研究会とは

一般社団法人 日本産業機械工業会

産業機械の業界団体（会員会社 約160社）  
12部会、8委員会

環境装置部会

環境装置産業の振興を目的に、各種統計、調査  
研究事業などを行っている。（メーカー 約70社）

環境ビジネス委員会

幹事会及び4分科会・1研究会により構成

## 3Rリサイクル研究会

リサイクラー 31社、メーカー 14社

オブザーバ・アドバイザー：

早稲田大学理工学術院 大和田 教授

神奈川県立産業技術短期大学校 大沼 講師

経済産業省 産業技術環境局 リサイクル推進課

# ■3Rリサイクル研究会

## 【活動目的】

装置メーカーとリサイクル事業者、政府の関連部署等との交流の場を設け、「リサイクル技術の高度化」と「事業機会の創出を図る」ことによって日本の3Rをさらに推進する。



## ■研究会活動内容

(1) 講演会の開催

(2) 施設調査 (国内外)

(3) WG活動 (共通課題に関する情報収集、意見交換、解決に向けた検討を実施。)

- ・リサイクル技術 WG (ASR、廃プラスチックの利活用技術調査、等)
- ・事業機会創出 WG (将来のリサイクルビジネスのあり方に関する情報収集)

(4) リサイクルセミナーの実施 (3/21 機械振興会館にて)

テーマ：リサイクルを「ビジネス」「技術」「政策」

から捉える資源循環の新たな潮流

(キーワード：IoT、サーキュラーエコノミー、バーゼル法、パルス破碎システム、国際化、等)

(5) 統計調査 (リサイクル業界の業況調査等)

(6) メーカーの会、リサイクラの会

(7) 関係省庁との意見交換、政策提言

# ■研究会活動状況

## 【講演会】

### (1) 日立造船(株)における環境事業の海外展開

(7月14日 日立造船(株) 環境事業本部 グローバル事業推進部 担当課長 藤本 佳憲 殿)

### (2) PV設備等のガラス高度再資源化システムに関する研究と展望

(9月27日 ガラス再資源化協議会 代表幹事 加藤 聡 殿)

### (3) 使用済太陽光発電設備のリユース・リサイクル・適正処分を巡る動向

(10月24日 環境省 大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 リサイクル推進室 室長補佐 泉 知行 殿)

### (4) リサイクルの政策上の意義について (容器包装リサイクル制度の課題と再生樹脂の品質管理)

(12月14日 経済産業省 産業技術環境局 リサイクル推進課 課長補佐 井出 大士 殿)

### (5) CFRPのリサイクル技術の開発動向と標準規格化の役割

(1月30日 産業技術総合研究所 環境管理研究部門 資源精製化学研究グループ 上級主任研究員 加茂 徹 殿)

# ■研究会活動状況

## 【施設調査】

(1) 欧州リサイクル技術視察（5月30日～6月4日）

### <ドイツ・フィンランド>

- Behrendt Recycling GmbH（廃電子・電気機器等リサイクル施設）
- MBA Neumünster GmbH（混合家庭ごみの選別、RDF製造）
- AVA Abfallverwertung Augsburg GmbH（一廃の廃棄物発電及び有機性廃棄物のバイオマス利用）
- Münchner Recycling GmbH（廃プラスチックや古紙等の中間処理）
- IFAT2016
- ZenRobotics社、SUEZ Helsinki工場（人工知能（AI）搭載のロボット選別システム）

(2) 小名浜製錬所（10月19日）（ASR処理施設）

(3) (株)シタラ興産 サンライズFUKAYA工場（12月2日）

（人工知能（AI）ロボットを利用した産業廃棄物の選別施設）

(4) 永興物産(株) 本社工場（2月6日）

（プラスチックコンパウンド施設）

# 第8回 3Rリサイクルセミナー

## ーリサイクルを「ビジネス」「技術」「政策」から捉えるー

### 資源循環の新たな潮流ー

一般社団法人 日本産業機械工業会 環境ビジネス委員会では、環境ビジネスおよび業界の振興を目的に、各種研究事業を行っております。その一つである「3Rリサイクル研究会」では、環境装置・プラントメーカーとリサイクル事業者と共に、リサイクルに関する様々な課題の解決に向けた検討を行っております。今回のセミナーは、リサイクル産業を取り巻く様々なキーワードを盛り込んだ内容となっており、今後の参考にしていただけると幸甚に存じます。ご多用のことと存じますが、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

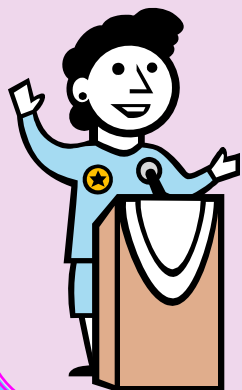
日時	平成 29 年 3 月 21 日 (火) 13:00~17:50 (懇親会 18:00~) ※受付開始 12:30~	
会場	機械振興会館 地下3階 研修-2会議室 東京都港区芝公園 3-5-8 TEL:03-3434-6820 (次頁案内図参照)	
プログラム	<p>1. 開会挨拶、3Rリサイクル研究会・WG等活動報告 ・3Rリサイクル研究会 研究会長 大槻 文和</p> <p>2. <b>「ビジネス」</b> リサイクルビジネスを取り巻く動向 13:10~14:20                  (1) サーキュラーエコノミーとリサイクルビジネスの新展開 (仮題) 13:10~13:40                  アクセンチュア株式会社 戦略コンサルティング本部 マネージング・ディレクター 和氣忠 殿                  (2) IoTによるリサイクルビジネスのイノベーションの可能性 (仮題) 13:40~14:00                  資源循環ネットワーク代表理事 林孝昌 殿                  (3) 日本における廃棄物リサイクル分野での取り組み (仮題) 14:00~14:20                  ヴェオリア・ジェネッツ株式会社 殿</p> <p>3. <b>「技術」</b> リサイクル技術の動向 I 14:20~15:20                  (1) パルス破砕システムを利用したリサイクル技術 (仮題) 14:20~14:50                  パナソニック株式会社 殿                  (2) 炭素繊維強化樹脂 (CFRP)、セルロースナノファイバー (CNF) と自動車の未来 (仮題) 14:50~15:20                  金沢工業大学大学院 工学研究科 高信頼ものづくり専攻 教授 影山裕史 殿</p> <p>……………&lt;15:20~15:35 休憩&gt;……………</p> <p>リサイクル技術の動向 II 15:35~16:35                  (3) IoTとリサイクル技術 (仮題) 15:35~16:05                  産業技術総合研究所 環境管理研究部門 総括研究主幹 大木達也 殿                  (4) CEとリサイクル技術 (仮題) 16:05~16:35                  東北大学 多元物質科学研究所 教授 中村崇 殿</p> <p>4. <b>「政策」</b> 資源循環政策の動向 16:35~17:35                  (1) CE/REの動向を中心に、パリ協定、資源循環政策に関する今後の展望 (仮題) 16:35~17:05                  経済産業省 産業技術環境局 リサイクル推進課 課長補佐 梅田英幸 殿                  (2) パーゼル法、廃棄物処理法の改正動向、廃棄物関連政策の今後の展望 (仮題) 17:05~17:35                  環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 企画課 廃棄物・リサイクル制度企画室長 相澤寛史 殿</p> <p>5. 講評 17:35~17:50                  早稲田大学 理工学術院 教授 大和田秀二 殿</p> <p>6. 閉会挨拶</p> <p>&lt;懇親会 (3Rリサイクル研究会のみ) 別途 2,000円&gt;: 18:00~19:30 機械振興会館 地下3階 ニュートキョ&gt;</p>	
セミナー参加費 (当日、受付にて御 支払い下さい。金額 は税込です。)	1. 日本産業機械工業会もしくは3Rリサイクル研究会のメンバー企業: 3,000円 2. 官公庁・自治体: 無料 3. 上記以外: 5,000円	
定員	100名 (定員に達しましたら締め切らせていただきます。)	
申込方法・ 締め切り	申込締め切り: 平成 29 年 3 月 7 日 (火) ※参加申込書にご記入の上、FAXもしくはE-mailにてお申込み下さい。	
問合せ先	一般社団法人 日本産業機械工業会 環境ビジネス委員会 3Rリサイクル研究会 事務局 山崎・西田 TEL: 03-3434-6820/FAX: 03-3434-4767、E-mail: yamasaki@jsim.or.jp	

(ご案内)  
**第8回**  
**3Rリサイクルセミナー**  
**平成29年3月21日(火)**  
**13:00~17:50**  
**機械振興会館(地下3階)**  
**研修-2会議室**

<http://www.jsim.or.jp/pdf/170203.pdf>

## ■次年度の活動に向けて

### 施設調査・講演会



- ・国内外の先進的な取り組みをしている施設の調査
- ・講演会・技術紹介・事例紹介の開催

### 調査研究

- ・共通課題に関するWG活動
- ・各種技術調査
- ・政策、市場動向に関する調査研究
- ・統計調査 等



### 情報発信・提案



- ・政府の関連機関との意見交換・政策提案
- ・最適技術、プロセス、ビジネスモデルの検討・提案
- ・3Rリサイクルセミナー 等





**ご静聴有難うございました。**

**(一社)日本産業機械工業会 環境装置部会  
(環境ビジネス委員会 3Rリサイクル研究会)**